

リハビリテーション科

リハビリテーション科

(原著論文:症例報告を含む)

Taira T, Ueta T, Katayama Y, Kimizuka M, Nemoto A, Mizusawa H, Liu M, Koito M, Hiro Y, Tanabe H: Rate of Complications Among the Recipients of Intrathecal Baclofen Pump in Japan: A Multicenter Study. *euromodulation*, **16(3)**: 266–272, 2013.

Takakura T, Yokoyama O, Sakuma F, Ito R, Romero RR: Complete paraplegia resulting from surfer's myelopathy. *Am J Phys Med Rehabil*, **92(9)**: 833–837, 2013.

Matsuzawa Y, Konishi M, Akiyama E, Suzuki H, Nakayama N, Kiyokuni M, Sumita S, Ebina T, Kosuge M, Hibi K, Tsukahara K, Iwashashi N, Endo M, Maejima N, Saka K, Hashiba K, Okada K, Taguri M, Morita S, Sugiyama S, Ogawa H, Sashika H, Umemura S, Kimura K: Association between gait speed as a measure of frailty and risk of cardiovascular events after myocardial infarction. *J Am Coll Cardiol*, **61(19)**: 1964–72, 2013.

伊藤利之: 総合リハビリテーションの実現に向けて—地域リハビリテーションの実践から—。リハビリテーション研究, **154**: 1–5, 2013.

伊藤利之: 総合リハビリテーションにおける連携。リハビリテーション連携科学, **14(2)**: 257–263, 2013.

亀井 聡, 小川克彦, 大越教夫, 中野今治, 水野裕司, 尾方克久, 朝比奈正人, 里宇明元, 上坂義和, 大竹敏之, 水落和也, 長谷川一子, 小池亮子, 瀧山嘉久, 橋本修二: 関東甲越地区におけるスモン患者の検診第25報。厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班 平成24年度総括・分担研究報告書: 41–44, 2013.

水落和也, 西郊靖子: スモンの転倒要因の検討—起立負荷自律神経機能評価—。厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班 平成24年度総括・分担研究報告書: 190–201, 2013.

水落和也, 西郊靖子, 佐久間藤子, 花田拓也, 前島千恵, 菊地尚久, 佐鹿博信: 複合的痙縮治療における装具療法の位置づけ。義装会誌, **29(special issue)**: 117, 2013.

稲田雅也, 水落和也, 西郊靖子: 関節リウマチ患者に対する人工指関節置換術後の装具療法と作業療法。義装会誌, **29(special issue)**: 244, 2013.

高倉朋和, 水落和也, 根本明宜, 西郊靖子, 島津尚子, 渡辺拓也, 北川新二, 内田真治, 佐鹿博信: 症例報告: 非切断側股関節に機能障害を有する高齢大腿切断者に対してロック付きバウンシング膝継手(NK-6+ L)が有用であった一例。義装会誌, **29(special issue)**: 121, 2013.

北川新二, 内田真治, 喜納正雄, 根本明宜, 水落和也, 丹田明義: ICECAST® アナトミーを使用した下腿義足(仮義足・訓練用義足)処方から本義足までの取り組みとその症例報告。義装会誌, **29(special issue)**: 327, 2013.

水落和也: もう悩まない! 100症例から学ぶリハビリテーション評価のコツ, 関節リウマチ(初期例)。MB Med Reha, **163**: 184–187, 2013.

水落和也: もう悩まない! 100症例から学ぶリハビリテーション評価のコツ, 関節リウマチ(進行例)。MB Med Reha, **163**: 188–191, 2013.

- 花田拓也, 水落和也, 西郊靖子: 悪性骨軟部腫瘍の長期フォローアップ症例から学ぶ. 臨床リハ, 12: 1195-1201, 2013.
- 水落和也: 進行がん・末期がんのリハビリテーションガイドライン作成に関する研究. 厚生労働省科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究 平成24年度総括・分担研究報告書: 130-136, 2013.
- 杉山佳菜子, 臺有桂, 佐藤美樹, 今松友紀, 糸井和佳, 河原智江, 田口理恵[袴田], 根本明宜, 森口エミリオ秀幸, 水嶋春朔, 田高悦子: ブラジル日系永住高齢者の食の意味を踏まえた生活習慣病予防に関する保健指導の検討. 横浜看護学雑誌, 6(1): 23-28, 2013.
- 高岡 徹: 障害者の社会参加と就労支援: 高次脳機能障害者. 総合リハ, 41(11): 997-1002, 2013.
- 横山 修, 高内裕史, 伊藤良介: C7運動完全麻痺の獲得するADL 一年齢による違い. 日本脊髄障害医学会雑誌, 26(1): 84-85, 2013.
- 横山 修: もう悩まない! 100症例から学ぶリハビリテーション評価のコツ, 自律神経過反射. MB Med Reha, 163: 163-166, 2013.
- 菊地尚久: もう悩まない! 100症例から学ぶリハビリテーション評価のコツ, 脳血管障害(症例8)複合障害例. MB Med Reha, 163: 54-57, 2013.
- 根本明宜: もう悩まない! 100症例から学ぶリハビリテーション評価のコツ, 痙縮(症例22)脊髄損傷(ITB). MB Med Reha, 163: 116-119, 2013.
- 橋爪紀子: もう悩まない! 100症例から学ぶリハビリテーション評価のコツ, ダウン症候群(症例94). MB Med Reha, 163: 415-419, 2013.
- 菊地尚久: 平成24年度厚生労働省科学研究補助金研究報告書, 全国リハビリテーション患者データベースを用いた維持期障害者に対する効果的な社会復帰支援に関する研究, 2013.
- (総 説)**
- Wakabayashi H, Sakuma K: Nutrition, exercise, and pharmaceutical therapies for sarcopenic obesity. J Nutr Ther, 2(2): 100-111, 2013.
- 梶縄広輝, 半澤直美, 佐竹恒夫: 言語発達遅滞. Monthly Book Medical Rehabilitation, 163: 402-405, 2013.
- 水落和也: 悪性骨軟部腫瘍—治療の進歩とリハビリテーション. 臨床リハ, 22(12): 1163, 2013.
- 水落和也: 50年後も希望の光は輝き続ける. 日本リハビリテーション医学会50周年記念誌委員会編 日本リハビリテーション医学会50周年記念誌. 医歯薬出版: 141, 2013.
- 水落和也, 池田 巧: 対談歩行可能痙縮患者のADL. QOL 改善を目指して. Medical Tribune 特別企画, 11, 2013.
- 若林秀隆: 身体的活動性の術後早期自立とプレハビリテーション. 外科と代謝・栄養, 47(6): 185-191, 2013.
- 若林秀隆: 今, なぜリハビリテーション栄養か. 週刊医学界新聞, 3057: 2, 2013.
- 若林秀隆: 小児NST 病態栄養シリーズ: 在宅栄養のすべて—摂食・嚥下リハビリテーションの問題点. 小児外科, 45: 1326-1329, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニアに対する運動療法の実践. 日本医事新報, 4677: 32-36, 2013.
- 若林秀隆, 他: サルコペニアと運動器の障害. Practice of Pain Management, 4(4): 4-13, 2013.

- 若林秀隆: 栄養—低栄養例. Medical Rehabilitation, 163:420—423, 2013.
- 若林秀隆: 研修医のための栄養療法入門. 研修医通信, 50: 8—11, 2013.
- 若林秀隆: 高齢者の廃用症候群の機能予後とリハビリテーション栄養管理. 静脈経腸栄養, 28: 1045—1050, 2013.
- 若林秀隆: 高齢者「主治医」事典—生活の質—高齢者と生き甲斐. JIM, 23: 826—828, 2013.
- 若林秀隆: アンチエイジングとリハビリテーション—サルコペニア. 総合リハビリテーション, 41(9): 809—816, 2013.
- 若林秀隆: 「回復期リハ“栄養”病棟」という考え方. リハビリナース, 6(5): 8—13, 2013.
- 若林秀隆: 誤嚥性肺炎と栄養管理—嚥下障害によるサルコペニアとその治療. 臨床リハ, 22(9): 858—864, 2013.
- 若林秀隆: 摂食・嚥下障害と栄養管理—理学療法とリハビリテーション栄養管理. 理学療法学, 40(5): 392—398, 2013.
- 若林秀隆: 軽度の摂食・嚥下障害を初期から見抜く—嚥下障害スクリーニングのための質問票“EAT-10”. エキスパートナース, 29(11): 13—17, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニアとアンチエイジング—栄養と運動. アンチ・エイジング医学, 9(4): 548—553, 2013.
- 若林秀隆: 持久力低下とリハビリテーション栄養. ニュートリションケア, 6(7): 92—94, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニアの摂食・嚥下障害とリハビリテーション栄養. ヒューマンニュートリションケア, 24: 67—69, 2013.
- 若林秀隆: リハビリテーションに栄養の視点を. 総合リハビリテーション, 41(6): 515, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニアの呼吸障害とリハビリテーション栄養. ニュートリションケア, 6(6): 84—86, 2013.
- 若林秀隆: リハビリテーションと栄養管理—リハと栄養管理はベストカップル—. 急性・重症患者ケア, 2(2): 340—347, 2013.
- 若林秀隆: 術後リハビリテーションの実際—ICU. 総合リハビリテーション, 41(5): 431—437, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニア肥満と栄養. 体育の科学, 63(5): 366—371, 2013.
- 若林秀隆: 実地医家のための臨床栄養update —咀嚼・嚥下障害と栄養管理. 日本医師会雑誌, 142(2): 279—281, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニアの嚥下障害とリハビリテーション栄養. ニュートリションケア, 6(5): 98—100, 2013.
- 若林秀隆: 二次性サルコペニアのリハビリテーション栄養. ニュートリションケア, 6(4): 92—94, 2013.
- 若林秀隆: 原発性サルコペニアのリハビリテーション栄養. ニュートリションケア, 6(3): 84—86, 2013.
- 若林秀隆: 歯科衛生士に知ってほしい“リハビリテーション栄養”. DHstyle, 7(2): 48—52, 2013.
- 若林秀隆: 悪液質のリハビリテーション栄養. ニュートリションケア, 6(2): 60—62, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニアの概要. リハニュースNo. 56: 2—3, 2013.

(著 書)

- 伊藤利之, 他(編): 今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 2013.
- 伊藤利之: 障害認定をめぐる諸問題. リハビリテーション医学白書(日本リハビリテーション医学会・監). 医歯薬出版, 101—107, 2013.

- 水落和也:リハビリテーションが必要な在宅進行がん・末期がん患者, 日本リハビリテーション医学会, がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会編 がんのリハビリテーションガイドライン. 金原出版, 135-145, 2013.
- 水落和也:がんのリハビリテーショングランドデザイン作成ワーキンググループ:平成22-24年度厚生労働科学研究費補助金・第3次対がん総合戦略研究事業 がんのリハビリテーショングランドデザイン. 金原出版, 2013.
- 水落和也:関節リウマチのリハビリテーション, 日本リハビリテーション医学会監修, リハビリテーション白書委員会編集, リハビリテーション医学白書2013年版. 医歯薬出版, 209-217, 2013.
- 水落和也:関節可動域関節, 岡島康友編, わかりやすいリハビリテーション. 中山書店, 95-104, 2013.
- 水落和也:関節リウマチと膠原病, 岡島康友編, わかりやすいリハビリテーション. 中山書店, 467-474, 2013.
- 水落和也:骨関節障害—全身性疾患. 伊藤利之, 江藤文夫, 木村彰男編 今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 168-169, 2013.
- 水落和也:骨関節障害—関節リウマチ. 伊藤利之, 江藤文夫, 木村彰男編 今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 169-179, 2013.
- 高岡 徹:地域リハビリテーションをめぐる諸制度, 地域リハビリテーション—くらしを支える医療の実践第1版, 水間正澄編集. 医歯薬出版, 215-220, 2013.
- 古澤一成, 高岡 徹, 他(日本リハビリテーション医学会障害者の体力評価ガイドライン策定委員会):障害者の体力評価ガイドライン—脳血管障害・脊髄損傷—第1版. 金原出版, 2013.
- 高岡 徹:車椅子, 電動車椅子, 座位保持装置, 重度障害者用意思伝達装置. 今日のリハビリテーション指針第1版 伊藤利之, 江藤文夫, 木村彰男編集. 医学書院, 579-583, 2013.
- 半澤直美:今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 38-43, 2013.
- 根本明宜, 朝貝芳美:リハビリテーション医学関連用語の現状. 日本リハビリテーション医学会(監修)リハビリテーション医学白書. 医歯薬出版, 71-77, 2013.
- 根本明宜:日常生活活動. 伊藤利之, 江藤文夫, 木村彰夫(編集)今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 500-502, 2013.
- 根本明宜:日常生活関連動作. 伊藤利之, 江藤文夫, 木村彰夫(編集)今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 503-505, 2013.
- 根本明宜:筋骨格系(運動器). 日本医療情報学会, 医療情報技師育成部会(編集) 新版 医療情報(第2版) 医学・医療編. 篠原出版, 205-210, 2013.
- 根本明宜:リハビリテーション. 日本医療情報学会, 医療情報技師育成部会(編集) 新版 医療情報(第2版) 医学・医療編. 篠原出版, 358-360, 2013.
- 横山 修:脊髄損傷のリハビリテーション. リハビリテーション医学白書 リハビリテーション医学会監修, 医歯薬出版社, 179-185, 2013.
- 横山 修:頸髄損傷. 今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 115-121, 2013.
- 菊地尚久:多発外傷, 今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 338-340, 2013.
- 菊地尚久:治療体操, 今日のリハビリテーション指針. 医学書院, 532-534, 2013.

- 菊地尚久: 専門医・認定臨床医制度 リハビリテーション医学白書. 医歯薬出版, 29-35, 2013.
- 菊地尚久: リハビリテーション専門医の今後に向けて日本リハビリテーション医学会50周年記念誌. 医歯薬出版, 156, 2013.
- 菊地尚久: 下肢近位筋への投与について 脳卒中上下肢痙縮 Expert ボツリヌス治療—私はこう治療している— 一. 診断と治療社, 62-67, 2013.
- 若林秀隆: 高齢者リハビリテーション栄養. カイ書林, 2013.
- 栢下 淳, 若林秀隆: リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎. 医歯薬出版, 2013.
- 若林秀隆: リハビリテーション栄養Q & A. 中外医学社, 2013.
- 若林秀隆: 絶食. 藤島一郎他編: Q & A と症例でわかる! 摂食・嚥下障害ケア. 羊土社, 325-327, 2013.
- 若林秀隆: 患者さんの栄養状態はどのように把握すればいいのでしょうか? 藤島一郎他編: Q & A と症例でわかる! 摂食・嚥下障害ケア. 羊土社, 46-50, 2013.
- 若林秀隆: 高齢者の栄養状態. 全国歯科衛生士教育協議会監修: 高齢者歯科第2 版. 医歯薬出版, 97-103, 2013.
- 若林秀隆: リハビリテーションと栄養. 日本病態栄養学会編: 病態栄養専門師のための病態栄養ガイドブック改訂第4 版. メディカルレビュー社, 307-311, 2013.
- 若林秀隆: 脳卒中とリハビリテーション. 藤本篤士他編: 5 疾病の口腔ケア. 医歯薬出版, 80-83, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニアの早期発見・治療: 病院—急性期病院. 葛谷雅文, 雨海照祥編: 栄養・運動で予防するサルコペニア. 医歯薬出版, 42-47, 2013.
- 若林秀隆: サルコペニア予防のための栄養管理とトレーニング. 大村健二, 葛谷雅文編: 高齢者の栄養はじめの一步. 羊土社, 160-169, 2013.

(学会等発表)

- Takakura K, Mizuochi K, Nishioka Y, Kikuchi N: Effects on heart rate variation by intra-thecal Baclofen bolus injection in a patients with cervical spinal cord injury. Korean-Japanese Neurorehabilitation Conference, Okayama, 2013, 2.
- Kikuchi N, Sashika H: The relationship with pain, function, complication, age and ADL for spinal cord injury patients: multivariate statistics analysis from JARM Data Base. 7th ISPRM, Beijing, 2013, 6.
- Kikuchi N: Changes in the system for specialists in rehabilitation medicine in Japan —Focusing on education and examination systems at training facilities—. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会専門医会企画国際シンポジウム 3 , Tokyo, 2013, 6.
- Wakabayashi H: Association between muscle strength of head lifting, dysphagia, and malnutrition in Japanese elderly: possibility of sarcopenic dysphagia. 7th International Conference of the Society on Sarcopenia, Cachexia and Wasting Disorders, Kobe, 2013, 12.
- Wakabayashi H: The sensitivity and specificity of EAT-10 for dysphagia and malnutrition in Japanese elderly with dysphagia or suspected dysphagia. 3rd Congress of the European Society for Swallowing Disorders, Malmö, 2013, 9. Wakabayashi H: Importance of dysphagia management in rehabilitation. 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul, 2013, 6.

- Takada K, Kikuchi N, Wakabayashi H, Sashika H: Combined qualitative study and cognitive evaluation of social participation for community living TBI persons. 7th ISPRM(ポスターセッション), Beijing, 2013.
- 佐鹿博信, 菊地尚久, 高田薫子: 第3 次応需救命救急センターから退院した軽中度の外傷性脳損傷(TBI)の参加制約とリハニーズに関する質的研究. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.
- 若林秀隆: 日本リハビリテーション栄養研究会の今後の展望. 第3回日本リハビリテーション栄養研究会学術集会, 福岡, 2013, 12.
- 若林秀隆: 慢性期医療とリハビリテーション栄養. 第21回日本慢性期医療学会, 東京, 2013, 11.
- 若林秀隆: 高齢者の栄養ケア～今そこにある危機にチーム医療で立ち向かう～:リハビリテーションの立場から—高齢者の栄養ケアがリハを変える. 第55回全日本病院学会, 埼玉, 2013, 11.
- 若林秀隆: 摂食・嚥下の地域連携の課題. 第52回全国自治体病院学会, 京都, 2013, 10.
- 若林秀隆: Presbyphagia(老嚥)とサルコペニアの栄養管理. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2013, 9.
- 若林秀隆: サルコペニアとリハビリテーション栄養. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2013, 9.
- 若林秀隆: 術後回復力強化プログラムにおけるプレハビリテーションの重要性. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第53回合同学術集会, 東京, 2013, 9.
- 若林秀隆: 食事と栄養でロコモ・サルコペニア肥満を予防しよう. 第25回日本運動器科学会, 神戸, 2013, 7.
- 若林秀隆: 緩和医療とリハビリテーション栄養. 第18回日本緩和医療学会学術集会, 横浜, 2013, 6.
- 若林秀隆: サルコペニアの摂食・嚥下障害とリハビリテーション栄養. 第50回日本リハビリテーション医学会, 東京, 2013, 6.
- 若林秀隆, 佐鹿博信: Eating Assessment Tool(EAT-10)による嚥下スクリーニングの妥当性. 第50回日本リハビリテーション医学会, 東京, 2013, 6.
- 若林秀隆, 佐鹿博信: 高齢者の摂食嚥下障害と頭部挙上筋力・頸部周囲長の関連:横断研究. 第50回日本リハビリテーション医学会, 東京, 2013, 6.
- 若林秀隆: サルコペニアの摂食・嚥下障害とリハビリテーション栄養. 第24回日本老年歯科医学会, 大阪, 2013, 6.
- 若林秀隆: 在宅リハビリテーション栄養とサルコペニア. 第15回日本在宅医学会大会, 愛媛, 2013, 3.
- 若林秀隆: 回復期リハビリテーションにおける臨床栄養とサルコペニア. 回復期リハビリテーション病棟協会第21回研究大会, 金沢, 2013, 3.
- 若林秀隆: サルコペニアの摂食・嚥下障害とリハビリテーション栄養. 第26回日本嚥下医学学会, 京都, 2013, 3.
- 若林秀隆: 廃用症候群の高齢入院患者における栄養評価と機能予後. 第28回日本静脈経腸栄養学会, 金沢, 2013, 2.
- 若林秀隆: リハビリテーション栄養の過去・現在・未来. 第28回日本静脈経腸栄養学会, 金沢, 2013, 2.
- 若林秀隆: 脳卒中のリハビリテーション栄養管理. 第28回日本静脈経腸栄養学会, 金沢, 2013, 2.
- 若林秀隆: サルコペニアと摂食・嚥下障害. 第28回日本静脈経腸栄養学会, 金沢, 2013, 2.

- 若林秀隆:リハビリテーション栄養管理とサルコペニア. 第28回日本静脈経腸栄養学会, 金沢, 2013, 2.
- 若林秀隆:リハビリテーション栄養. 第16回日本病態栄養学会, 京都, 2013, 1.
- 若林秀隆:摂食嚥下障害. 第16回日本病態栄養学会, 京都, 2013, 1.
- 高田薫子, 菊地尚久, 若林秀隆, 佐鹿博信:高次脳機能障害をもつ地域在住脳外傷者の社会参加に関する質的研究:SF-36によるQOL の検討. 第55回日本リハビリテーション医学会関東地方会, 甲府, 2013, 9.
- 高田薫子, 菊地尚久, 若林秀隆, 佐鹿博信:脳外傷後自宅退院した患者に対する社会参加状況の質的研究. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.
- 伊藤利之:総合リハビリテーションにおける「連携」. 第14回日本リハビリテーション連携科学学会, 千葉, 2013, 3.
- 伊藤利之:障害者自立支援法(障害者総合支援法)の給付と手帳等級. シンポジウム:わが国における障害認定の課題と今後の方向性. 厚生労働科学研究費補助金「障害認定の在り方に関する研究」研究班, 東京, 2013, 3.
- 伊藤利之:適宜・適切にシーティング・サービスを提供するために. 第9回日本シーティング・シンポジウム, 東京, 2013, 11.
- 宇高千恵, 水落和也:小児がんのリハビリテーション. 第2回がんのリハビリテーション懇話会, 東京, 2013, 1.
- 松浦秀憲, 水落和也:RA とOA の術後クリニカルパスの比較—TKA について—. 第26回横浜リウマチフォーラム, 横浜, 2013, 1.
- 稲田雅也, 坂本安令, 井川穂澄, 長尾絹江, 水落和也:シリコーンインプラントを用いたPIP 人工関節置換術後のスプリントの工夫. 第14回神奈川リウマチのリハ・ケア研究会, 横浜, 2013, 1.
- 亀井 聡, 小川克彦, 大越教夫, 中野今治, 水野裕司, 尾方克久, 朝比奈正人, 里宇明元, 上坂義和, 大竹敏之, 水落和也, 長谷川一子, 小池亮子, 瀧山嘉久, 橋本修二:関東甲越地区におけるスモン患者の検診第25報. 平成24年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究報告会, 東京, 2013, 2.
- 水落和也, 西郊靖子:スモンの転倒要因の検討—起立負荷自律神経機能評価. 平成24年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究報告会, 東京, 2013, 2.
- 高倉朋和, 西郊靖子, 根本明宜, 菊地尚久, 佐久間藤子, 松浦秀憲, 水落和也:PCPS とIABP を用いた補助循環管理後に対麻痺と尖足変形を呈した劇症型心筋炎後遺症の1例. 第54回日本リハビリテーション医学会関東地方会, 新潟, 2013, 2.
- 水落和也, 西郊靖子, 高倉朋和, 佐久間藤子, 松浦秀憲:2013年1月に経験した運動障害者の下肢骨折4例. 第7回横浜リハビリテーション研究会, 横浜, 2013, 2.
- 水落和也, 高倉朋和, 坂本安令, 上杉 上, 畑 千秋:がん患者リハビリテーションの実施状況. 第74回神奈川リハビリテーション研究会, 横浜, 2013, 3.
- 三縄智栄, 水落和也, 上杉 上, 島津尚子, 小西聡宏, 小林寿絵, 向山ゆう子, 松宮美奈, 中村大輔, 渡辺拓也, 高木寛奈, 望月英樹:患肢温存術後11年で感染により再置換術を施行した成人男性の理学療法経過. 第74回神奈川リハビリテーション研究会, 横浜, 2013, 3.
- 佐久間藤子, 水落和也, 西郊靖子, 高倉朋和, 松浦秀憲, 菊地尚久, 佐鹿博信:自己末梢血幹細胞移植により

- POEMS 症候群の諸症状が改善し、長期にわたりリハビリテーションを行った成人女性例の臨床経過. 第74回神奈川リハビリテーション研究会, 横浜, 2013, 3.
- 花田拓也, 水落和也:リハビリテーション科における感染症への対応. 第27回横浜リウマチフォーラム, 横浜, 2013, 5.
- 望月英樹, 島津尚子, 上杉 上, 佐久間藤子, 水落和也:POEMS 症候群に対する運動療法の経験—長期介入により歩行自立に至った症例—. 第38回日本運動療法学会, 別府, 2013, 6.
- 松浦秀憲, 水落和也, 西郊靖子, 高倉朋和, 佐久間藤子, 菊地尚久, 佐鹿博信:RA の人工膝関節置換術後 Clinical Path はOA と同じでよいか? 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.
- 宇高千恵, 佐久間藤子, 高倉朋和, 西郊靖子, 水落和也, 佐鹿博信:小児がん患者に対するリハビリテーション科の介入. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.
- 野々垣学, 高田薫子, 佐鹿博信, 菊地尚久, 水落和也:回復期リハビリテーション病棟入院料の変更による変化について. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.
- 西郊靖子, 高倉朋和, 菊地尚久, 水落和也:小児線維筋痛症のADL 評価. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.
- 水落和也, 西郊靖子, 高倉朋和, 松浦秀憲, 菊地尚久, 佐久間藤子, 佐鹿博信, 根本明宜:ジストニア型脳性麻痺症例に対するITB 療法の経過. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.
- 水落和也, 西郊靖子, 佐久間藤子, 花田拓也, 前島千恵, 菊地尚久, 佐鹿博信:複合的痙縮治療における装具療法の位置づけ. 第29回日本義肢装具学会学術大会, 佐賀, 2013, 10.
- 稲田雅也, 水落和也, 西郊靖子:関節リウマチ患者に対する人工指関節置換術後の装具療法と作業療法. 第29回日本義肢装具学会学術大会, 佐賀, 2013, 10.
- 高倉朋和, 水落和也, 根本明宜, 西郊靖子, 島津尚子, 渡辺拓也, 北川新二, 内田真治, 佐鹿博信:症例報告:非切断側股関節に機能障害を有する高齢大腿切断者に対してロック付きバウンディング膝継手(NK-6+ L)が有用であった一例. 第29回日本義肢装具学会学術大会, 佐賀, 2013, 10.
- 北川新二, 内田真治, 喜納正雄, 根本明宜, 水落和也, 丹田明義:ICECAST® アナトミーを使用した下腿義足(仮義足・訓練用義足)処方から本義足までの取り組みとその症例報告. 第29回日本義肢装具学会学術大会, 佐賀, 2013, 10.
- 高岡 徹, 稲澤明香, 小池純子, 児玉真一, 伊藤利之, 小林宏高:当センターにおける車椅子処方の現状調査:処方マニュアルの作成に向けて. 第29回日本義肢装具学会学術大会, 佐賀, 2013, 10.
- 高岡 徹:総合リハビリテーションの実践—障害者の力を高める支援:医療の立場から. 総合リハビリテーション研究大会プレ企画, 金沢, 2013, 8.
- 高岡 徹:よりよい総合リハビリテーションの到達点を求めて—専門領域の現状と課題から専門性の再構築—医療の立場から:高次脳機能障害について. 第36回総合リハビリテーション研究大会, 金沢, 2013, 10.
- 齋藤 薫:地域リハビリテーションにおける働くことの支援. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.
- 鈴木明子:発達障害をもつ人の医療の実践経験から考えること. 自閉症カンファレンスNippon2013, 東京, 2013, 8.

菊地尚久, 佐鹿博信: 自立訓練施設に入所している維持期障害者に対するリハ評価. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2013, 6.

菊地尚久, 佐鹿博信, 若林秀隆, 水落和也: 痙性対麻痺患者に対する歩容改善を目的とした痙縮治療効果. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2013, 6.

菊地尚久, 池田卓也, 寺田佳代, 秋元 環: 乗馬運動時の動作解析—上肢と骨盤周囲に注目して—. 第21回日本臨床スポーツ医学会, 熊本, 2013, 10.

菊地尚久, 佐鹿博信, 水落和也, 内田真治: ボツリヌス療法を施行した脳卒中片麻痺患者に対する下肢装具処方. 第29回日本義肢装具学会学術大会, 佐賀, 2013, 10.

稲澤明香, 高岡 徹, 中尾真理, 橋爪紀子, 小林宏高, 小池純子, 伊藤利之: 重度障害者用意思伝達装置の使用状況についての調査. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.

根本明宜, 山末耕太郎, 大日方裕也, Pham Thanh Hiep, 杉本千佳, 河野隆二: UWB-BAN のプロトタイプを用いた生体情報モニタリングの病院環境における実証実験. 第33回医療情報学連合大会, 神戸, 2013, 11.

萩原浩明, 根本明宜, 山口健太郎, 井上登美夫: 民間事業者データセンターを利用したPACS の構築と運用. 第33回医療情報学連合大会, 神戸, 2013, 11.

横山 修: シンポジウム: 慢性期におけるリハビリテーションアプローチ. 第48回日本脊髄障害医学会, 福岡, 2013, 11.

横山 修, 佐々木貴: 退院後もADL が拡大した50歳代C7完全四肢麻痺の1 症例. 第5 回神奈川脊髄障害ネットワーク, 横浜, 2013, 7.

横山 修, 花田拓也, 高内裕史, 伊藤良介: C5 運動完全麻痺の獲得するADL 一年齢別による違い—. 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2013, 6.

横山 修, 對間泰雄, 松元 健, 浅沼 満, 野村美佐子, 松田健太, 永澤嘉樹, 生方克之: 回復期から在宅就労アプローチを行っているC4 完全四肢麻痺の1 症例. 第75回神奈川リハビリテーション研究会, 横浜, 2013, 10.

(研究助成金)

伊藤利之(分): 身体障害者福祉法における今後の障害認定のありかたに関する研究. 平成25年度厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業), 10万円.

水落和也(分): スモン患者の自律神経機能と運動能力に関する研究. 平成25年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業), 80万円.

水落和也(分): 新たなソケット作製キット導入により早期義肢装着を可能にするシステム構築. 平成24年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2010-2013), 10万円.

根本明宜(代): 新たなソケット作製キット導入により早期義肢装着を可能にするシステム構築. 平成25年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2010-2013), 70万円.

根本明宜(分): 人体動作取得解析システムの開発およびエキスパート看護師の動作の一般応用可能性の検証. 平成25年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2012-2013), 10万円.

根本明宜(分): 革新的な地域医療マネジメントモデルの構築と評価に関する研究. 横浜市立大学平成25年度戦略的研究推進費(2013-2015), 50万円.

菊地尚久(代): 全国リハビリテーション患者データベースを用いた維持期障害者に対する効果的な社会復帰支援に関する研究. 平成25年度厚生労働省科学研究補助金(障害者対策総合研究事業)(2011-2013), 521.1万円.

菊地尚久(代): 脳外傷リハデータベースによる社会復帰に向けたリハ介入効果の多施設間検討. 平成25年度文部省科学研究費補助金 基盤研究(C)(2012-2014), 143万円.

菊地尚久(分): 脳外傷による高次脳機能障害者に対する居宅訪問面接と行動観察による地域リハ・ニーズ評価. 平成25年度文部省科学研究費補助金 基盤研究(C), 15万円.

佐鹿博信(代): 脳外傷の高次脳機能障害者に対する居宅訪問面接と行動観察による地域リハ・ニーズ評価. 平成24年度文部省科学研究費(平成24-26年), 140万円.

若林秀隆(代): CTによるサルコペニア指標の開発およびサルコペニアによる摂食・嚥下障害の解析. 学術研究助成基金助成金基盤研究(C), 195万円.

若林秀隆(分): 地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究—特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入システムの構築に向けて—. 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合事業), 80万円.

(その他)

伊藤利之: 障害者・高齢者に関わる法制度. 第7回福祉・地域リハビリテーション実習研修会, 横浜, 2013, 2.

伊藤利之: 保健医療福祉の基礎理解/リハビリテーション. 平成25年度神奈川県介護支援専門員専門研修, 横浜, 2013, 10.

伊藤利之: これからの地域リハビリテーション: その体制づくり. 平成25年度地域リハビリテーションスタッフ研修会, 仙台, 2013, 10.

伊藤利之: リハビリテーション医療の現状. 神奈川県歯科医師会主催/平成25年度神奈川県摂食・嚥下障害歯科医療担当者研修会, 横浜, 2013, 10.

伊藤利之: リハビリテーションの行く道. (いわてリハビリテーションセンター20周年記念)いわてリハビリテーションフォーラム2013, 盛岡, 2013, 11.

水落和也: 杖・歩行補助具. 平成25年度義肢装具等適合判定医師研修会第71回前期, 所沢, 2013, 8.

水落和也: 新しい診断・治療体系における関節リウマチのリハビリテーション. 栃木県臨床整形外科医会第19回学術講演会, 宇都宮, 2013, 10.

水落和也: 実践! 関節リウマチのリハビリテーションチーム医療. 第31回先進リウマチ医学研究会, 東京, 2013, 11.

水落和也: 新しい診断・治療体系における関節リウマチのリハビリテーション. RA トータルマネジメントネットワーク, 2013, 旭川, 2013, 11.

水落和也: がんのリハビリテーション. 平成25年度横浜市立大学附属病院緩和ケア研修会, 横浜, 2013, 9.

水落和也: がん患者に対するリハゴール設定の考え方. 第13回がんのリハビリテーション研修会, 大阪, 2013, 4.

水落和也: がん患者に対するリハゴール設定の考え方. 第15回がんのリハビリテーション研修会, 仙台, 2013, 10.

水落和也:ITB 療法から痙縮を考える. 神奈川脊髄障害ネットワーク第5 回研究会, 横浜, 2013, 7.

水落和也:当科における痙縮治療とその選択肢. 相模原痙縮ミーティング, 相模原, 2013, 12.

水落和也:小児のリハビリテーション. 第24回日本小児整形外科学会, 横浜, 2013, 11. _

若林秀隆:40代から要注意!あなたの知らないサルコペニア肥満. あさいち, NHK テレビ, 2013, 7, 18.

若林秀隆:サルコペニア肥満. ニュースなぜ太郎, テレビ朝日, 2013, 11, 2.

若林秀隆:要注意!サルコペニア(筋肉減少)のやせ・肥満. ラジオあさいちばん, NHK ラジオ, 2013, 12, 2~
6.

若林秀隆:外見から分からない「サルコペニア肥満」. AERA2013年12月23日号.